

倫理委員会議事概要

1. 開催日時 : 令和 6 年 6 月 18 日 (火) 15時00分～16時45分
2. 開催場所 : 当院大会議室
3. 出席者 : 院長、看護部長、薬剤科長、管理課長、古川委員 (外部委員)
(欠席: 事務部長)
4. 審議議題 : 以下の受付番号「6-1」から「6-7」の課題につき、別添申請書に基づいて申請者から研究内容の説明があり、委員からの質疑の後、審議結果となった。

受付番号 「6-1」

課題名 「車いす生活を希望する脊髄損傷患者に対する支援」

申請者名 : 国立病院機構釜石病院 看護師 柏崎綾乃

質疑内容

- ・申請内容について説明
介入は通常の看護の範囲内であり、患者に侵襲を加えるものではない。
- ・倫理的配慮について、同意書を取る際は患者へ計入内容、患者に不利益はないこと及びデータの使用について書面を用いて丁寧に説明すること。

審議のため説明者 (申請者: 柏崎看護師) 退席

- ・倫理的に問題無い。

審査結果

- ・委員会の結論として承認する。

受付番号 「6-2」

課題名 「脳卒中リハビリテーション病棟におけるエンドオブライフケアに関する看護師の認識と実践」

申請者名 : 国立病院機構釜石病院 看護師 山陰慈代

質疑内容

- ・申請内容について説明
令和3年度に看護師への意識調査を行い、令和4年度にケア計画書を改定しているところ。EOLケアの認識と実践に変化があったかどうかを確認し、今後のEOLケアの充実や質の向上に向け課題を明らかにするもの。
- ・当院ではがんと違い数年から数十年のターミナルケアとなる。EOLケアは、落ち着いているときの楽しみを行うケアといわゆるターミナルケアの2種のケアを含んでいる。

- ・「脳卒中リハビリテーション病棟におけるエンドオブライフケアに関する看護師の認識と実践」（依頼）における研究対象者が23人とあるが、実際は22人であるので、訂正すること。
- ・アンケートにおける年齢の記入はやめ、年代を選択させるようにすること。

審議のため説明者（申請者：山陰看護師）退席

- ・倫理的に問題無い。

審査結果

- ・委員会の結論として承認するが、研究実施前に、別途研究対象者数及び年齢についての修正を行い、決裁により委員会の承認を受けること。（令和6年7月16日委員会承認）

受付番号 「6-3」

課題名 「スキンケア予防としての皮膚状態の改善を目指した取り組み」

申請者名：国立病院機構釜石病院 看護師 佐々木大典

質疑内容

- ・申請内容について説明
- ・研究の最終目的はスキンケアを防ぐことだが、対象者は年齢条件廃し、効果の分かる患者を選定すること。
- ・NSTでのスキンチェッカーのプレ値とポスト値を比較すること。
- ・実証比較対象者について定めたものを記載すること。
- ・研究の説明書における文言を修正すること。
- ・上記計画書を修正し、同意書様式を提出すること。

審議のため説明者（申請者：佐々木看護師）退席

- ・倫理的に問題無い。

審査結果

- ・委員会の結論として承認するが、研究実施前に、別途計画書及び同意書について決裁により委員会の承認を受けること。（令和6年7月16日委員会承認）

受付番号 「6-4」

課題名 「知的障害のある患者の興奮を緩和するためのアプローチ」

申請者名：国立病院機構釜石病院 看護師 那須瑛吾

質疑内容

- ・申請内容について説明
- ・昔の自立していた頃の自分に戻りたいという思いがあるがもはや不可能という状況下におかれた患者に対してどのような看護ができるかが研究の発端である。
- ・アンケート形式で成功体験をスタッフから募り、整理したうえで看護計画を策定し、病棟スタッフで統一的に実施する。再度アンケートを取り評価する。
- ・アンケート項目を工夫し、実際のケアに適用できるよう調整する。
- ・同意書については、本人と後見人（保佐人）にも説明すること。

審議のため説明者（申請者：那須看護師）退席

- ・倫理的に問題無い。

審査結果

- ・委員会の結論として承認する。

受付番号 「6-5」

課題名 「夜間の尿漏れを最小限にする取り組み」

申請者名：国立病院機構釜石病院 副看護師長 小國梢

質疑内容

- ・申請内容について説明
- ・おむつの当て方を改善することで尿漏れを減少させ、もってコスト削減を図るものである。
- ・アンケート項目は、どの当て方でどのような効果があったかが明確に分かるよう工夫されたい。

審議のため説明者（申請者：小國副看護師長）退席

- ・倫理的に問題無い。

審査結果

- ・委員会の結論として承認するが、研究実施前に、別途アンケート内容について決裁により委員会の承認を受けること。（令和6年7月16日委員会承認）

受付番号 「6-6」

課題名 「重症心身障害児（者）に合った食事姿勢を取り入れた自力摂取へのアプローチ」

申請者名：国立病院機構釜石病院 看護師 菅野世奈

質疑内容

- ・申請内容について説明
- ・現状、自力摂取しきれず途中から介助が必要となっている。適切な姿勢をとれば最後まで自力摂取できるのではないか。リハビリと協力し、適切な姿勢をとることが出来るようになり、食事介助をなくすことを最終目とし、今回はその最初の段階である。
- ・本人から同意を得ることが困難であるとのことなので、ご家族に丁寧に説明し、同意を得ること。

審議のため説明者（申請者：菅野看護師）退席

- ・倫理的に問題無い。

審査結果

- ・委員会の結論として承認する。

受付番号 「6-7」

課題名 「重症心身障がい児（者）病棟におけるベッド柵の上げ忘れを防ぐ～転落防止チェーンを用いた物理的防止策の有効性～」

申請者名：国立病院機構釜石病院 副看護師長 針立尚輝

質疑内容

- ・申請内容について説明
- ・注意喚起だけでなく、今回、物理的な予防策を実施するもの。
- ・対策実施前後でベッド柵上げ忘れの件数を比較するとともに、転落防止チェーン装着手順の標準化と習慣化のためにスタッフからアンケートを取り、次の段階へ繋げる。
- ・転落防止チェーンの素材と取り付け方を決裁した後

審議のため説明者（申請者：針立副看護師長）退席

- ・倫理的に問題無い。

審査結果

- ・委員会の結論として承認するが、研究実施前に、別途転落防止チェーンの素材及び取り付け方について決裁により委員会の承認を受けること。（令和6年7月16日委員会承認）